

公表

## 令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援室kodomo港南台（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内で落ち着いて課題や学習に取り組む「静」の活動と、戸外へ出て思い切り体を動かして遊ぶ「動」の活動がバランス良く組み込まれている。</li> <li>・室内の清潔を保っている。</li> <li>・手洗い、消毒をルーチン化して病気に負けない丈夫な身体作り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚過敏や不安が強い子どもの為にイヤーマフを導入。</li> <li>・部屋数もあるので、クールダウンの為に空間が確保出来る。</li> <li>・室内の清潔保持について。職員それぞれの意識が高く小まめな清掃を行っている。また、風邪や嘔吐下痢、皮膚疾患などはやらない様除菌や換気を徹底している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光、臭覚、味覚、皮膚過敏についての研修に参加し職員皆で理解を深めていきたい。</li> <li>・子どもの視点を大事に、どう快適に過ごせるかの環境を準備していきたい。</li> <li>・毎年恒例の年末の大掃除は子ども達と一緒に一年無事に過ごせた事を皆で感じる時間とする。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から良く聞き取りを行って子どものニーズに合わせた支援計画を作成している。</li> <li>・子どもにも聞き取りをして支援計画に反映させている。</li> <li>・5領域を念頭に置き、カリキュラムの組み立ては常勤、職員皆でアイデアを出し合っている。</li> <li>・優しく明るい職員が元気に仕事を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントは子どもの日常の様子を細やかに聞いている。子どもの興味や関心ごとに寄り添った支援や教材の準備を行う。</li> <li>・調理活動は子どものリクエストを積極的に取り入れている。</li> <li>・職員同士が和気藹々、気兼ねなく話し合い、共有出来る環境作りを目指している。健康の維持促進について話題に出して情報共有をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の様子について半年間で情報や環境が変わることもあるのでその度、保護者と情報共有をしっかりと行う。</li> <li>・送り迎えの際。保護者にお会いできるので出来たこと、これからチャレンジしていきたいことなど職員が積極的に提案していきたい。</li> <li>・支援スキルの向上を目指して研修や学習の時間を設ける。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園や学校訪問へ出向き、子どもの様子を把握し理解を深めている。</li> <li>・就労に向け取り組み。(社会上マナー、言葉使い、指先課題)</li> <li>・子ども一人ひとりの個性を大切に、良いところをしっかりと認めて自己肯定感に繋げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なケース会議に参加をして情報を共有。子どもの成長に繋げる為、最善の環境作りを努めている。</li> <li>・調理活動や季節の制作物を作る中で、楽しみながら頑張れるようなカリキュラムを組み立てている。</li> <li>・毎日の職員ミーティングや振り返りの中で、声掛けや関りを皆で確認合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談を受けた段階で、学校や園、その他利用機関との連携の重要性を伝えていきたい。</li> <li>・子ども達や保護者の気持ちに寄り添いながらも出来る事を伸ばして行きたいと思える様、前向きな言葉がけをしていく。また、一つ一つ丁寧整理して気持ちが整うよう支援スキルを高めていく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流や他事業所との関わり。</li> <li>・子ども達の声が大きく近隣住民に迷惑をかけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公園やログハウス、図書館など遊びに出向いている。</li> <li>・子どもの声量コントロールが継続課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちの良い挨拶や、マナーを守った遊具の利用を心がけている。公園遊びの前にはルールや約束について話し近隣に迷惑を掛けない様努めている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーについて。エレベーターのない3階に教室がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーについて。エレベーターのない3階に教室がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーターがないので階段の上り下りの訓練の場としている。必ず指導員が1体1でサポートをして、必要であれば手すりを使い上り下りの練習をしている。</li> </ul>
3			